



学校だより

No.14

—最終号—

2022（令和4）年3月22日

聖ウルスラ学院英智小・中学校

本日の修了式を以て、今年度の出校日が終了いたしました。今年度も、予定していたことをなかなか予定通りにできないことの多い1年でした。オンラインでの授業や行事の動画配信については、回を重ね慣れてきたこともあり比較的スムーズに行うことができましたが、「直に触れること」を増やしたいと願わずにはいられません。特に、保護者の方々に来校していただいたの授業参観や懇談会は、結局果たせませんでした。それでも、学校からの種々のお願いに対し、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

次年度も、実り多い1年になるよう、共に進んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

《4月行事予定》

その他	日	曜	First	Second	Third
	1	金	春季(学年始)休業日(～4月7日)		
	2	土			
	3	日			
	4	月			T1課外
	5	火			↓
	6	水			
	7	木			
	8	金	着任式・始業式 SB11:00		
	9	土	2～9年休業日 新1入学式(10時～)・新7年入校式(14時～)		
発育測定↓	10	日	(高校:午前始業式・入学式14:00～・入寮式)		
5・6年	11	月	午前授業SB12:15 対面式・新7年オリエンテーション 3rd学力推移		
3・4年	12	火	午前授業SB12:15 7年身分証明書写真撮影 2nd,T2在校生学力テスト		
1・2年	13	水	特編午前授業(1stお弁当の日) SB13:30		
	14	木	1年お弁当SB13:30 2年～給食開始 交通安全教室(午後)2ndクラブ登録,SB16:20		
	15	金	授業開始(1年給食開始 SB13:30) SB16:20		
	16	土	(全学年通常 SB12:15)		
発育測定↓	17	日	復活祭		
①②7～9年	18	月			
	19	火		6・9年全国学力学習状況調査(国・算/数・理)	
会議日:午後短縮	20	水		⑥委員会	⑥委員会 ⑦祈りの集い
	21	木			
	22	金			
祈りの集い	23	土	4・6・8年 授業参観・懇談会 他学年通常		
	24	日			
	25	月		①祈りの集い	
	26	火	①祈りの集い	7年学習合宿	
	27	水		7年学習合宿	
	28	木		⑥⑦T1対面式	
	29	金	昭和の日		
	30	土	5月1日(日)～5日(木) 休日		

【年間行事予定表について】

本日、別紙にて年間行事予定表を配布しました。**あくまでも現時点での予定版です。**確定版は新年度がスタートしましたら改めてお配りいたします。また、4月下旬発行の学校要覧の巻末にも確定版を掲載いたします。それでもまだ変更の可能性は多分にあります。迅速な情報提供を心がけ、保護者の皆様としっかり連携しながら対応していきたいと考えております。

※重要!!…「会議日」(水曜、毎月2日程度)は、午後短縮40分授業で SB15:30発になります。

次年度、職員会議や教員研修等がある日は、午後のみ40分の短縮授業となります。(T1 課外あり)

特に、スクールバスの学校発時刻は通常より50分早くなりますので、お迎えの場合は、それぞれの停留所で換算した早い時刻でお待ちいただくこととなります。お忘れなくご確認くださいませようお願いいたします。

○始業式、入学・入校式

次年度も新型コロナウイルス感染防止の措置として、新1年生の入学式と新7年生の入校式を午前午後に分けて開催することになり、始業式はこの前日に行います。



4月8日(金) 始業式 SB11:00

4月9日(土) 10:00~入学式(新1年生)/14:00~入校式(新7年生) ※在校生休業日

※高校は、始業式・入学式が4月10日(日)の午前・午後で、11日(月)が代休となっています。

☆8・9年生の4月学力テスト日程(国数英は Benesse 学力推移調査。) T1 は学力推移調査のみ。

11日(月) 対面式の後 ①9:15~10:00 国語 ②10:10~10:55 数学 ③11:05~11:50 英語 12:15 下校

12日(火) ①8:40~9:30 社会 ②9:40~10:30 理科 ③10:50~11:35 自己採点 ④HR 12:15 下校

○授業参観、学級・学年懇談会

分散型で計画いたしました。いずれも土曜日の午前中です。

4・6・8年:4月23日(土) 1・5・7年:5月7日(土) 2・3・9年:5月14日(土)

○4月30日(土)、5月2日(月)は お休み です。

これにより、4月29日(金)から5月5日(木)まで、ちょうど一週間の連休となります。

○ファーストステージ運動会は5月28日(土)です。

5月28日(土)の午前、南小泉総合グラウンドで行います。但し、当日雨天の場合は翌日に延期、その日も雨天の場合は翌々日の月曜となります。

※この可能性も考え、30日(月)は、1st ステージのみ、お弁当の日になっています。

【その他、年度末のご連絡】

○皆勤賞見送りについて

今年度も「皆勤賞」を見送っております。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

○キャリアパスポートについて

キャリアパスポートは、ご覧いただいた上で新年度の新担任にご提出ください。

3月 《聖書のことば》

「真理はあなたたちを自由にする」(ヨハネによる福音書 8章32節)

先日、5年生は言語技術の授業で『ヨハネスブルクへの旅』という物語の丸本分析を行いました。物語の舞台は20世紀中ごろの南アフリカ。当時の南アフリカは、アパルトヘイトという人種隔離政策によって、人口の16%に過ぎない白人が、大多数である黒人に対し、さまざまなことを制限し支配していました。このような人種差別を国の政策として行っていたという事実、5年生の子どもたちは驚き、怒りすら感じているようでした。中でも子どもたちが一番驚いたことは、白人と黒人の教育に政府が大きな差をつけていたということです。

この物語の主人公ナレディは、黒人居留地に住む12歳の女の子です。「母さんをつれてこよう。でないと、ディネオは死んじゃう！」ある日ナレディは、重い病気を患っている妹ディネオの命を救うため、村から300kmも離れたヨハネスブルクで働いている母親に会いに、歩いて行くことを決意します。当時は今のようにすぐに連絡がとれる時代ではなかったし、彼女たちはとても貧しく、電車やバスに乗るお金も持っていませんでした。出稼ぎに行っている母親に妹の命の危機を知らせるには、歩いて直接会いに行くしか方法はなかったのです。ナレディは弟のティロと一緒に、村から大都会ヨハネスブルクへの旅に出ました。

ナレディはこの旅を通して、白人による黒人への差別があることに気がつきます。住みたい場所に住めない、就きたい職業に就けない、受けた教育を受けられない…。彼女は、自分たち黒人が理不尽な制限の中で生きていることに疑問を抱き、「自由」という言葉の意味について考えます。特に彼女が興味を示したのは、かつて学生たちが行った、都合のいい教育内容しか黒人に教えようとしぬ政府に対する抗議のデモについてです。白人の召し使いになるための勉強なんてしたくないと、学生たちは危険を覚悟で「黒人は、ごみ箱ではない」と書かれた横断幕を掲げながらデモを行ったのです。この学生たちの行動に、ナレディは大きく心を動かされます。また、旅の途中で出会った黒人女性グレースの「わたしたち、今はどこでだってひどい扱いを受けているけど、こんなこと永久に続きやしないわ」という言葉に、ナレディはとても勇気づけられました。そして彼女は物語の最後に、医者になるという大きな夢を抱きます。



「もし医者になったら、どんなに人の役に立つだろう。特に、医者はいないこの村では。」

ナレディは、自分が黒人だというだけで不当な扱いを受けていることに気づいても、白人や政府を恨んだり憎んだりせず、むしろ差別のある世界を変え、医者になって人の役に立ちたいと願います。私は、負の感情にとられることなく、前向きに志高く生きようとするナレディの姿こそが「自由」なのだと感じました。辛く厳しい状況下で希望を持ち続けることは、誰にとっても難しいことです。まして、そのような状況の中、他者のために生きようとするのはさらに難しいことです。しかし、このような生き方こそ、神様が私たちに望んでいる生き方なのではないでしょうか。

現在、長引くコロナ禍で、大人だけではなく子どもたちも窮屈さや不便さ、不安や不満を感じて生きている。絶望し、悲観的になってしまう瞬間もたくさんあります。ナレディの生き方は、そんな私たちに、ほんとうの「自由」とは何なのか、今をどのように生きるべきなのかを、教え導いてくれているように感じました。是非みなさんも『ヨハネスブルクへの旅』を手にとり、今月の聖書のみことばに心を寄せて欲しいと思います。

(ビヴァリー・ナイドゥー作 もりうちすみこ訳、ヨハネスブルクへの旅、さ・え・ら書房)

ほめたたえ

☆第42回（令和3年度）JA共済宮城県小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール

銀賞 4年 鷹松ななみ

☆第67回青少年読書感想文 全国コンクール 小学校低学年の部

入選賞 2年 中村友馬 「自分と向き合う強さ」

◇7年生「立志式」みことばの祭儀・進級認定証授与式

3月19日（土）に聖堂で行われました。今年度も他の行事同様、ご家族の皆様には動画配信で観ていただくという行事となりましたが、7年生はとても成長した姿を見せてくれました。



7年生のみなさん、おめでとうございます！